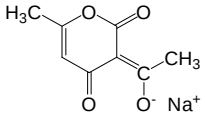
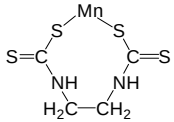
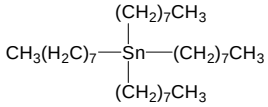
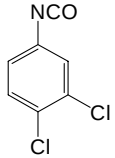
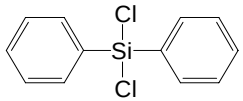
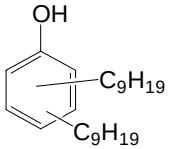
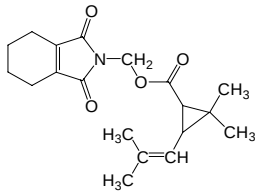
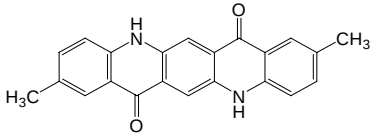
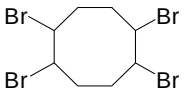
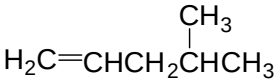
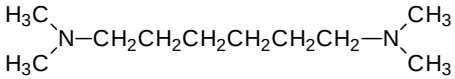
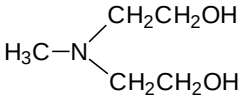
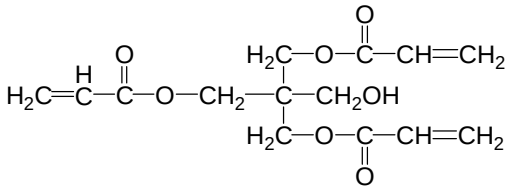
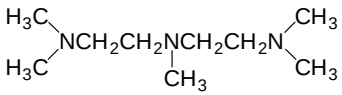
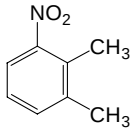
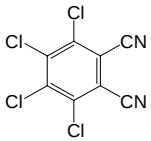
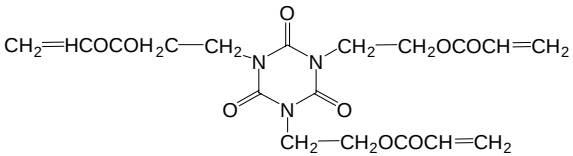
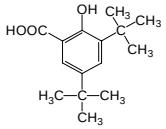
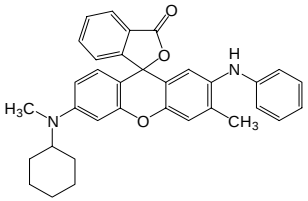
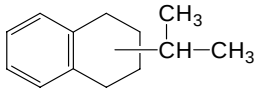
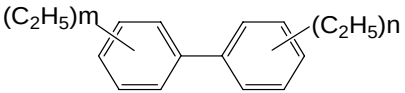
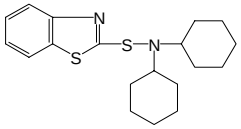
平成１７年９月　既存化学物質点検（分解・蓄積）結果資料　〈第47回審査部会〉

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1625	3-アセト-6-メチル-2-ピロノンナトリウム塩 (4418-26-2) 5-0676 	BOD :　77, 77,　77　(77) TOC :　99, 99,　99　(99) HPLC: 100, 100, 100 (100)			良分解性	なし
683B	{[エチレンビス(カルバモジチオアト)](2-)} マンガン (12427-38-2) ［PRTR 1-49］ 2-1841 	BOD :　1,　1,　0　(1) HPLC: 100, 100, 100 (100) 被験物質は変化し、2-イミダゾリジンチオン、1,2-エチレンビスジチオカルバミン酸及び1,3,6-チアジアゼピン-2,7(3*H*,6*H*)-ジチオンを生成し、残留した。	有機金属のため適用外		難分解性	被験物質は全量変化し、変化物の一部が未同定のため今後検討
1427	テトラオクチルスタンナン (3590-84-9) 2-2270 	BOD :　3,　3,　0(-2) (2) HPLC:　0,　1,　3　(1)	有機金属のため適用外		難分解性	濃縮度試験
1496	イソシアン酸-3,4-ジクロロフェニル (102-36-3) 3-2489 	BOD :　0(-1), 0(-4), 0(-2) (0) HPLC: 100,　100,　57　(86) 被験物質は変化して、3,4-ジクロロアニリン及び3,3′,4,4′-テトラクロロジフェニル尿素を生成し、残留した。	3.88[*1]		難分解性	被験物質は全量変化し、変化物の一部が未同定のため今後検討
1640	ジクロロジフェニルシラン (80-10-4) 3-2634 	BOD :　0,　0(-1), 0　(0) G C : 100, 100, 100 (100) 被験物質は加水分解し、ジフェニルシランジオールを生成し、残留した。	5.06[*1]		難分解性	変化物(ジフェニルシランジオール)の分配係数試験
1648	ジノニルフェノール (1323-65-5) 3-0526 	BOD :　2,　1,　2　(2) HPLC:　35,　11,　46　(31) 被験物質は汚泥へ吸着することが認められ、汚泥からの脱着が困難であった。	10.47[*1]		難分解性	濃縮度試験

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1672	*N*-(3,4,5,6-テトラヒドロフタルイミド)メチル-D,L-シス,トランス-クリサンテメート (7696-12-0) 9-0839 	BOD : 4, 0, 1 (2) HPLC: 41, 33, 32 (35) 一部加水分解して、2,2-ジメチル-3-(2-メチル-1-プロペニル)-シクロプロパンカルボン酸(シス,トランス体)及び*N*-ヒドロキシメチル-3,4,5,6-テトラヒドロキシフタルイミドを生成し、残留した。	5.54*1		**難分解性**	濃縮度試験
1703	2,9-ジメチルキナクリドン (980-26-7) 5-1168 	BOD : 0(-3), 0(-3), 0(-4) (0) 重量法 : 6, 4, 0 (3)	2.47*1		**難分解性**	被験物質を溶解する溶媒がないため今後検討
1715	1,2,5,6-テトラブロモシクロオクタン (3194-57-8) 3-2254 	BOD : 0(-16), 2, 0(-1) (1) G C : 1, 0, 1 (1)	5.24*1		**難分解性**	濃縮度試験
899A	4-メチル-1-ペンテン (691-37-2) 2-0022 	BOD : 0, 1, 3 (1) G C : 3, 1, 2 (2) 判定結果 難分解性 (H14年 1月 29日)	3.38 (フラスコ振とう法)	分配係数から類推	**(難分解性) 高濃縮性ではない**	なし
1255	*N,N,N′,N′*-テトラメチルヘキサメチレンジアミン (111-18-2) 2-0156 	BOD : 1, 2, 0 (1) TOC : 0, 0, 0 (0) G C : 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H9年10月28日)	2.10 (pH12) (フラスコ振とう法) 1.70*1	分配係数から類推	**(難分解性) 高濃縮性ではない**	なし
1265	*N*-メチルジエタノールアミン (105-59-9) 2-0300 	BOD : 22, 0, 0 (7) TOC : 60, 5, 5 (23) HPLC: 65, 6, 4 (25) 判定結果 難分解性 (H9年7月30日)	<0.5 (pH9.6) (HPLC法) -1.50*1	分配係数から類推	**(難分解性) 高濃縮性ではない**	なし

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1278	トリアクリル酸ペンタエリトリトール (3524-68-3) 2-1003 	BOD： 17, 6, 12 (12) HPLC: 95, 76, 83 (85) 入手試料は変化し、モノアクリル酸ペンタエリトリトール、ペンタエリトリトール(難分解性、高濃縮性でない)及びアクリル酸(良分解性)を生成した。アクリル酸は分解し、被験物質、不純物のジアクリル酸ペンタエリトリトール、トリアクリル酸ペンタエリトリトールモノカルバルデヒド及び変化物のモノアクリル酸ペンタエリトリトール、ペンタエリトリトールは残留した。 判定結果 難分解性 (H11年4月27日)	1.1 (HPLC法) 0.91[*1]	分配係数から類推(被験物質のlog Powは1.1。モノアクリル酸ペンタエリトリトールは被験物質より極性が高い。ペンタエリトリトールは高濃縮性でない判定済み。)	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1379	*N*-メチル-*N*,*N*-ビス(2-ジメチルアミノエチル)アミン (3030-47-5) 2-0147 	BOD： 0, 0, 0 (0) TOC： 0, 0, 1 (0) G C： 0, 1, 1 (1) 判定結果 難分解性 (H12年7月26日)	0.04 (pH12) (フラスコ振とう法) -0.57[*1]	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1450	2,3-ジメチルニトロベンゼン (83-41-0) 3-0399 	BOD ： 0, 0, 0 (0) HPLC: 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H13年3月27日)	2.85 (フラスコ振とう法) 2.83[*3]	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1481	テトラクロロフタロニトリル (1953-99-7) 3-1783 	BOD ： 2, 0, 0 (1) HPLC: 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H12年6月21日)	3.00 (フラスコ振とう法)	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1597	トリス(２－ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸アクリル酸エステル (40220-08-4) 5-1060 	BOD： 24, 0, 12 (12) TOC： 44, 16, 49 (36) HPLC: 100, 53, 100 (84) 被験物質は試験液中で変化し、被験物質より極性が高いトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸、トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸モノアクリル酸エステル及びトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸ジアクリル酸エステルが残留した。 判定結果 難分解性 (H14年5月29日)	1.9 (HPLC法)	分配係数から類推(被験物質のlogPowは1.9。変化物はいずれも被験物質より極性が高い。)	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1650	3,5-ジ-*tert*-ブチルサリチル酸 (19715-19-6) 3-3034 	BOD : 0, 0, 0 (0) HPLC: 0, 2, 0 (1) 判定結果 難分解性 (H15年5月20日)	6.06*1	1区:≦2.4～4.1 2区:≦23 脂質含有率 開始前 3.38% 終了後 3.02%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1655	3-(*N*-シクロヘキシル-*N*-メチルアミノ)-6-メチル-7-アニリノフルオラン (55250-84-5) 5-3631 	BOD :0(-8),0(-6),0(-3)(0) HPLC: 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H15年6月20日)	8.60*1	1区: 2400 2区: 2500 脂質含有率 開始前 2.58% 終了後 3.80%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1714	イソプロピルテトラヒドロナフタレン (26916-60-9) 4-0577 	BOD : 3, 2, 1 (2) G C : 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H16年3月17日)	5.28*1	ピークA 1区: 2000 2区: 1400 ピークB 1区: 2000 2区: 1900 脂質含有率 開始前 3.43% 終了後 3.85%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
264C	トリエチルジフェニル (42343-17-9) 4-0016  m+n=3	BOD : 0, 0, 0 (0) G C : 5, 1, 1 (2)	6.87*1	ピークA 1区: 2400 2区: 5800 ピークB 1区: 1100 2区: 1600 ピークC 1区: 1800 2区: 5300 ピークD 1区: 1400 2区: 1400～3700 ピークE 1区: 790 2区: 1300 開始前 3.30% 終了後 4.73%	難分解性 高濃縮性	なし

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1231	***N,N*-ジシクロヘキシル-2-ベンゾチアゾリルスルフェンアミド** (4979-32-2) 5-0526 	BOD : 0, 0, 0 (0) HPLC: 4, 6, 0 (3) 判定結果 難分解性 (H7年3月24日)	4.80以上 (フラスコ振とう法)	脂質含量 1区: 15～ 80 3.9% 2区: 74～ 316 3.9% 3区: 331～ 916 4.0% 4区:1150～3950 4.0% 5区:3380～7310 3.7% 6区:6000 開始前 2.58% 終了後 2.10%	**(難分解性) 高濃縮性**	なし

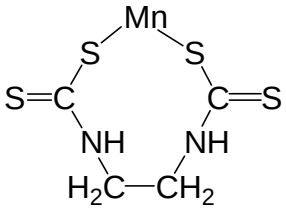
*1 Kowwin v1.66 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値
*2 The Physical Properties Database (Syracuse Reserch Corporation)による実測値
*3 Deneer, JW et al.(1987)による実測値

[実施機関] K-683B 株式会社 三菱化学安全科学研究所
K-1625,1640,1648,1672 株式会社 日本医学臨床検査研究所
上記以外 財団法人 化学物質評価研究機構

整理番号　K－１６２５　（NEDO ２９９，５－０６７６）	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験
３－アセト－６－メチル－２－ピロノンナトリウム塩	事業対象年度　平成１６年度	契　約　年　月　日	契　約　年　月　日
(4418-26-2)	試験期間　16.11. 2～17. 1.25	試験期間　. . ～ . .	試験期間　. . ～ . .
	試験装置　(標)・揮	試験装置　標・揮	試験装置　標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試　験　濃　度	試　験　濃　度	試　験　濃　度
	被験物質　100 mg/L	被験物質　mg/L	被験物質　mg/L
	汚　泥　30 mg/L	汚　泥　mg/L	汚　泥　mg/L
	本試験期間　4　週間	本試験期間　週間	本試験期間　週間
	試験結果 間接 BOD 77, 77, 77 (77)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 TOC 99, 99, 99 (99)%	試験結果 直接	試験結果 直接
	試験結果 直接 HPLC 100,100,100(100)%	試験結果 直接	試験結果 直接
分子式　$C_8H_7NaO_4$　分子量　１９０．１３			
純　度*1　99.4%　／　外　観　白色結晶性粉末			
不純物（物質名，含有率）残り 0.6%は不明 ／ 溶解度（対水，その他）対水*2　33wt%（25℃）	審査部会　第４７回　１７年　９月３０日開催	審査部会　第　回　年　月　日開催	審査部会　第　回　年　月　日開催
融　点　測定不可 (270℃から淡黄色に変化) (一水和物として) ／ １－オクタノール／水分配係数	判　定	判　定	判　定
密　度　1.443g/cm³（25℃）(一水和物として)	備　考 1.回収率※ （水＋被験物質）系　100% （汚泥＋被験物質）系　100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2.実施機関 ・株式会社 日本医学臨床検査研究所	備　考	備　考
ＬＤ50　500 mg/kg (ラット，経口) ／ 安定性			
ＩＲチャートの有無　(有)・無			
用　途*3　保存料、有機合成剤（可塑剤）			
生産量（　年）			
試　料　購入先　和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日　年　月　日			

*1　和光純薬工業添付資料による。　*2　Hazardous Substances Data Bank (U.S. National Library of Medicine)(2004/11)による。

*3　14705 の化学商品（化学工業日報社）による。

整理番号　K－６８３Ｂ　（ＮＥＤＯ ２４，２－１８４１）	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験
{[エチレンビス(カルバモジチオアト)](２－)}マンガン	事業対象年度　平成１６年度	契　約　年　月　日	契　約　年　月　日
[別名：マンネブ]　(12427-38-2)	試験期間　17．1.19～17．3.16	試験期間　．．～．．	試験期間　．．～．．
PRTR 1-49	試験装置　(標)・揮	試験装置　標・揮	試験装置　標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試　験　濃　度	試　験　濃　度	試　験　濃　度
	被験物質　100 mg/L	被験物質　mg/L	被験物質　mg/L
	汚　泥　30 mg/L	汚　泥　mg/L	汚　泥　mg/L
	本試験期間　4　週間	本試験期間　週間	本試験期間　週間
	試験結果 間接 BOD　1，1，0　(1)	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 HPLC 100,100,100 (100)	試験結果 直接	試験結果 直接
分子式　$C_4H_6MnN_2S_4$　分子量　２６５．３０			
純　度*1　90.2%　／　外　観　灰黄色粉末			
不純物（物質名，含有率） 残り 9.8%については不明	溶解度（対水，その他） 対水*4　216～230mg/L		
融　点*2　192～204℃(分解)	審査部会　第４７回 １７年　９月３０日開催	審査部会　第　回 年　月　日開催	審査部会　第　回 年　月　日開催
	判　定	判　定	判　定
沸　点	１－オクタノール／水分配係数 有機金属のため適用外	備　考	備　考
比　重*2　d_4^{25} 1.92		1.回収率 （水＋被験物質）系　84% （汚泥＋被験物質）系　84% 2.実施機関 ・株式会社 三菱化学安全科学研究所 3．特記事項 ・被験物質は変化し、２-イミダゾリジンチオン(5-0432,難分解,低濃縮)を 64～68%、１,２-エチレンビスジチオカルバミン酸(2-1808，log Kow = 0.62*5)を 2～3%、１,３,６-チアジアゼピン-２,７(3*H*,6*H*)-ジチオン(新規物質，log Kow = -1.00*5)を 15～21%生成し、残留した。また、総マンガンとして100～112%検出された。	
ＬＤ50*3　4,500mg/kg(ラット､経口) 4,000mg/kg(マウス､経口)	安定性		
ＩＲチャートの有無　有・無			
用　途*3　殺菌剤			
生産量（　年）			
試　料　購入先　和光純薬工業　残留農薬試験用			
経済産業公報発表年月日　年　月　日			

*1　和光純薬工業添付資料による。　*2　Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine)(2002)による。　*3　有機化合物辞典（講談社）による。
*4　http://www.cdpr.ca.gov/docs/empm/pubs/fatememo/maneb.pdf (2004/11)による。　*5　Kowwin v 1.66による計算値。

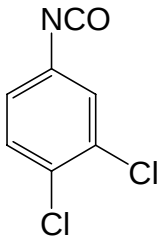
整理番号 K－1427 (NEDO298, 2－2270)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
テトラオクチルスタンナン (3590-84-9)	事業対象年度 平成16年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 17.2.2 ～17. 4.21	試験期間 . . ～ . .	試験期間 . . ～ . .
	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 3, 3, 0(-2) (2)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	直接 HPLC 0, 1, 3 (1)%	直接	直接
分子式 $C_{32}H_{68}Sn$ 分子量 571.59			
純度*1 100% / 外観 無色液体			
不純物(物質名, 含有率) / 溶解度(対水, その他) 対水 10mg/L 以下(25℃) 対テトラヒドロフラン 10g/L 以上 対酢酸エチル 10g/L 以上	審査部会 第 47 回 17年 9月30日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点	判定	判定	判定
沸点*2 224℃(1.3hPa) / 1－オクタノール／水分配係数 有機金属のため適用外	備考	備考	備考
密度*2 0.9605 g/cm^3(20℃)			
LD50*2 >4000mg/kg(oral, rat) / 安定性			
IRチャートの有無 有・無			
用途			
生産量(年)			
試料 購入先 Merk Ltd. 商品名 TETRAOCTYLTIN FOR SYNTHESIS			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

1.回収率
(水＋被験物質)系 93.1%
(汚泥＋被験物質)系 93.8%

2.実施機関
・財団法人 化学物質評価研究機構

3.特記事項
・分解度が負の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示す。

*1 HPLC による。 *2 IUCLID Dataset(2000)による。

整理番号　K－１４９６　（NEDO３０１，３－２４８９）	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験
イソシアン酸－３，４－ジクロロフェニル　(102-36-3)	事業対象年度　平成１６年度	契　約　年　月　日	契　約　年　月　日
	試験期間　16.11.26～17. 4.19	試験期間　. . ～ . .	試験期間　. . ～ . .
	試験装置　(標)・揮	試験装置　標・揮	試験装置　標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試　験　濃　度	試　験　濃　度	試　験　濃　度
	被験物質　100 mg/L	被験物質　mg/L	被験物質　mg/L
	汚　泥　30 mg/L	汚　泥　mg/L	汚　泥　mg/L
	本試験期間　4　週間	本試験期間　週間	本試験期間　週間
	試験結果 間接 BOD　0(-1),0(-4),0(-2)(0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 HPLC 100,100, 57 (86)%	試験結果 直接	試験結果 直接
分子式　$C_7H_3Cl_2NO$　分子量　１８８.０１			
純　度*1　98.9% / 外　観　白色結晶			
不純物（物質名，含有率）残り1.1%は不明 / 溶解度（対水，その他）対水　変化のため測定不可　対メタノール　10 g/L 以上	審査部会　第４７回　１７年　９月３０日開催	審査部会　第　回　年　月　日開催	審査部会　第　回　年　月　日開催
融　点*2　41℃	判　定	判　定	判　定
沸　点*2　243.1℃（1013hPa） / １－オクタノール／水分配係数*4　log Kow = 3.88			
密　度*2　1.39 g/cm³(50℃)			
LD50 / 安定性			
ＩＲチャートの有無　(有)・無			
用　途*3　ウレタンホーム原料、農薬合成原料			
生産量（　年）			
試　料　購入先　東京化成工業			
経済産業公報発表年月日　年　月　日			

備　考

1.回収率※
（ 水 ＋被験物質）系　100%
（汚泥＋被験物質）系　100%

※試験液をアセトニトリルで希釈して分析機器に導入。

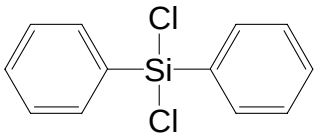
2.実施機関
・財団法人 化学物質評価研究機構

3.特記事項
・被験物質は全て又は一部変化し、3,4－ジクロロアニリン(3-0261,K-243,S52.3.15(31)難分解 S53.12.18(48)低濃縮、log Kow = 2.37*4)及び 3,3′,4,4′－テトラクロロジフェニル尿素(新規物質,log Kow = 5.55*4)を生成し、残留した。

・分解度が負の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示す。

*1　東京化成工業添付資料による。　*2　International Uniform Chemical Information Database(European Chemicals Bureau)(Edition 2000)による。
*3　有機化合物辞典（講談社）による。　*4　Kowwin v 1.66 による計算値。

整理番号　K－１６４０　（NEDO２０７，３－２６３４）	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験
ジクロロジフェニルシラン　(80-10-4)	事業対象年度　平成１６年度	契　約　年　月　日	契　約　年　月　日
	試験期間　16.11. 4～16.12.28	試験期間　. . ～ . .	試験期間　. . ～ . .
	試験装置　(標)・揮	試験装置　標・揮	試験装置　標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試　験　濃　度	試　験　濃　度	試　験　濃　度
	被験物質　100 mg/L	被験物質　mg/L	被験物質　mg/L
	汚　泥　30 mg/L	汚　泥　mg/L	汚　泥　mg/L
	本試験期間　4　週間	本試験期間　週間	本試験期間　週間
	試験結果 間接 BOD　0，0(-1)，0　(0)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 G C　100,100,100(100)%	試験結果 直接	試験結果 直接
分子式　$C_{12}H_{10}Cl_2Si$　分子量　２５３.２０			
純　度*1　100.0%　外　観　無色澄明液体			
不純物（物質名，含有率）　溶解度（対水，その他）　対水　水中変化のため測定不可	審査部会　第４７回　１７年　９月３０日開催	審査部会　第　回　年　月　日開催	審査部会　第　回　年　月　日開催
融　点*2　-22℃	判　定	判　定	判　定
沸　点*3　304～305℃　１－オクタノール／水分配係数　log Kow = 5.06*4	備　考		備　考
比　重*3　d_4^{25} 1.218			
ＬD50　安定性			
ＩＲチャートの有無　(有)・無			
用　途			
生産量（　年）			
試　料　購入先　和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日　年　月　日			



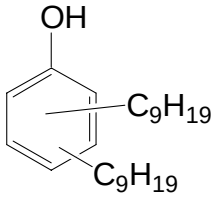
1.回収率(ジフェニルシランジオール)
（ 水 ＋被験物質）系　101%
（汚泥＋被験物質）系　104%

・分解度が負の値に算出されたため、カッコ内にその計算値を示す。

2.実施機関
・株式会社 日本医学臨床検査研究所

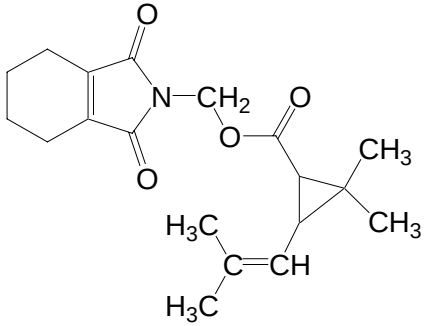
3.特記事項
・被験物質は試験液中で加水分解し、ジフェニルシランジオール(3-2638，logKow=2.03*4)を 99～107%生成し、残留した。

*1　和光純薬工業添付資料による。　*2　Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine)(2002/5)による。
*3　有機化合物辞典（講談社）による。　*4　Kowwin v 1.66 による計算値。

整理番号　K－１６４８　（NEDO２１７，３－０５２）	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験
ジノニルフェノール　(1323-65-5)	事業対象年度　平成１６年度	契　約　年　月　日	契　約　年　月　日
	試験期間　14.12.10～15. 1.23	試験期間　. . ～ . .	試験期間　. . ～ . .
	試験装置　(標)・揮	試験装置　標・揮	試験装置　標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試　験　濃　度	試　験　濃　度	試　験　濃　度
	被験物質　100 mg/L	被験物質　mg/L	被験物質　mg/L
	汚　泥　30 mg/L	汚　泥　mg/L	汚　泥　mg/L
	本試験期間　4　週間	本試験期間　週間	本試験期間　週間
	試験結果 間接 BOD　2，1，2 (2)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 HPLC　35，11，46 (31)%	試験結果 直接	試験結果 直接
分子式　$C_{24}H_{42}O$　分子量　３４６.５９			
純　度*　99% / 外　観　淡黄褐色粘稠液体			
不純物*（物質名，含有率） 水分　0.007% フェノール及び不明物　0.993% / 溶解度（対水，その他） 測定不可（多成分であり、正確な溶解度は得られないと判断した。）	審査部会　第４７回 １７年　９月３０日開催	審査部会　第　回 年　月　日開催	審査部会　第　回 年　月　日開催
融　点　測定不可(多成分のため)	判　定	判　定	判　定
沸　点　測定不可(多成分のため) / １－オクタノール／水分配係数 log Kow = 10.47 (Kowwin v 1.66 による計算値)	備　考 1.回収率 （水＋被験物質）系　97.7% （汚泥＋被験物質）系　96.5% 2.実施機関 ・株式会社 日本医学臨床検査研究所 3.特記事項 ・提供試料は HPLC 分析でピーク数 20～30 本の多成分の混合物である。 ・被験物質は汚泥に吸着することを確認した。	備　考	備　考
密　度*　0.911 g/cm³(20℃)			
ＬD50 / 安定性			
ＩＲチャートの有無　(有)・無			
用　途			
生産量（　年）			
試　料			
経済産業公報発表年月日　年　月　日			

*　提供先添付資料による。

整理番号　K－１６７２　（NEDO２４３，９－０８３９）	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験	分　解　度　試　験
N－（３,４,５,６－テトラヒドロフタルイミド）メチル－D,L－シス,	事業対象年度　平成１６年度	契　約　年　月　日	契　約　年　月　日
トランス－クリサンテメート	試験期間　16.11.11～17. 2.15	試験期間　. . ～ . .	試験期間　. . ～ . .
[別名：テトラメトリン]　(7696-12-0)	試験装置　(標)・揮	試験装置　標・揮	試験装置　標・揮
構造式（示性式）・物理化学的性状	試　験　濃　度	試　験　濃　度	試　験　濃　度
	被験物質　100 mg/L	被験物質　mg/L	被験物質　mg/L
	汚　泥　30 mg/L	汚　泥　mg/L	汚　泥　mg/L
	本試験期間　4　週間	本試験期間　週間	本試験期間　週間
	試験結果 間接 BOD　4, 0, 1 (2)%	試験結果 間接	試験結果 間接
	試験結果 直接 HPLC　41, 33, 32 (35)%	試験結果 直接	試験結果 直接
分子式　$C_{19}H_{25}NO_4$　分子量　３３１.４１			
純　度*1　98.6%　／　外　観　微黄色固体			
不純物（物質名，含有率）	審査部会　第４７回　１７年　９月３０日開催	審査部会　第　回　年　月　日開催	審査部会　第　回　年　月　日開催
溶解度*2（対水，その他）　対水　1.83 mg/L(25℃)	判　定	判　定	判　定
融　点*2　68～70℃			
沸　点*2　180～190℃(0.1 mmHg)	備　考		備　考
１－オクタノール／水分配係数*3　log Pow = 5.54			
比　重*2　d^{20}_{20} 1.108			
LD_{50}*2　>20 g/kg (oral, rat)			
安定性			
ＩＲチャートの有無　(有)・無			
用　途*4　殺虫剤			
生産量（　年）			
試　料　購入先　AccuStandard			
経済産業公報発表年月日　年　月　日			



1.回収率※
（ 水 ＋被験物質）系　100%
（汚泥＋被験物質）系　100%

※試験液をアセトニトリルで希釈して分析機器に導入。

2.実施機関
・株式会社 日本医学臨床検査研究所

3.特記事項
・被験物質は一部加水分解して、２,２-ジメチル-３-(２-メチル-１-プロペニル)-シクロプロパンカルボン酸(シス,トランス体,新規物質,log Kow = 3.49*3)及び*N*-ヒドロキシメチル-３,４,５,６-テトラヒドロキシフタルイミド(5-0093, log Kow = -0.59*3)を生成し、残留した。

*1　GC による。　*2　Hazardous Substances Data Bank(U.S. National Library of Medicine)(2002/8)による。　*3　Kowwin v 1.66 による計算値。
*4　環境保健クライテリア 98 による。